

# 宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第16号(2023年7月号 [2023/7/10 発行])

7月になり大変暑い日続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。脱水など起こさないように小まめに水分を摂るなどして、どうぞ体調管理にお気をつけお過ごし下さい。本号では、今年、新たに改定された関節リウマチ治療におけるメトトレキサート (MTX) 使用と診療の手引き 2023年版について解説したいと思います。

## 「ガイドライン」から「手引き」に名称変更

これまでは「関節リウマチ治療におけるMTX診療ガイドライン」として2011年の初版、2016年の改訂版が刊行されましたが、今回から「関節リウマチにおけるMTX使用と診療の手引き」と変更されました。これは、今回の改訂では多くの国内外エビデンスが評価対象となるGRADE法は採用されなかったためです。その代わりに、エキスパートオピニオンを中心とした従来通りの診療指針の作成方法を採用されたため、従来のガイドラインという名称ではなく、より適切な方法として、「手引き」が採用されることになりました。

大きく、4つの改訂のポイントがありますので順に述べます。

### 1. MTXの適応がより簡潔的に

2016年版では、「予後不良と思われる患者では、リスク・ベネフィットに鑑みて、MTXを第1選択薬として考慮する」と表現されていましたが、「予後不良と思われる患者では、」の部分が削除されより簡潔になりました。また、他の従来型合成抗リ

ウマチ薬 (csDMARD) を第一選択薬とした場合、通常量を2～3か月以上継続投与しても治療目標に達しない場合には、可能な限りMTXを追加併用または変更して投与すべきとされました。さらに、MTXの増量速度について、2016年版では、予後不良因子をもつ非高齢者では、急速増量の記載がありましたが、今回は、患者に合わせて増量するスピードを調整する形として、増量速度に幅を持たせて記載されています。

### 2. MTXの投与禁忌事項の一部緩和

投与禁忌については、2016年版では、胸水・腹水が存在する患者は禁忌とされていましたが、今回、胸水・腹水が存在する患者の項目に「大量の」という文言が追記されました。2023年改訂版では投与禁忌となるのは大量貯留に限定され、それ以下の場合には慎重投与とされました。なお、大量貯留の定義は、「症状軽減などの治療を目的とした穿刺・排液の必要があるかが目安」とされています。さらに、高度な呼吸器障害を有する患者の基準として、「呼吸機能検査で%VC<80%の拘束性障害」の文言も削除されています。

以上、禁忌事項については一部緩和されたかたちとなりました。

### 3. 葉酸は全例投与を推奨

今回の改訂では、副作用予防効果が期待できる葉酸を投与しないことのデメリットの方が大きいことがMTX診療ガイドライン小委員会でも議論され、委員全員一致の元で、MTXの開始用量にかかわらず、全例で

葉酸を併用することを強く勧められることとなりました。

#### 4. 新たな選択肢として MTX 皮下注射製剤を追加

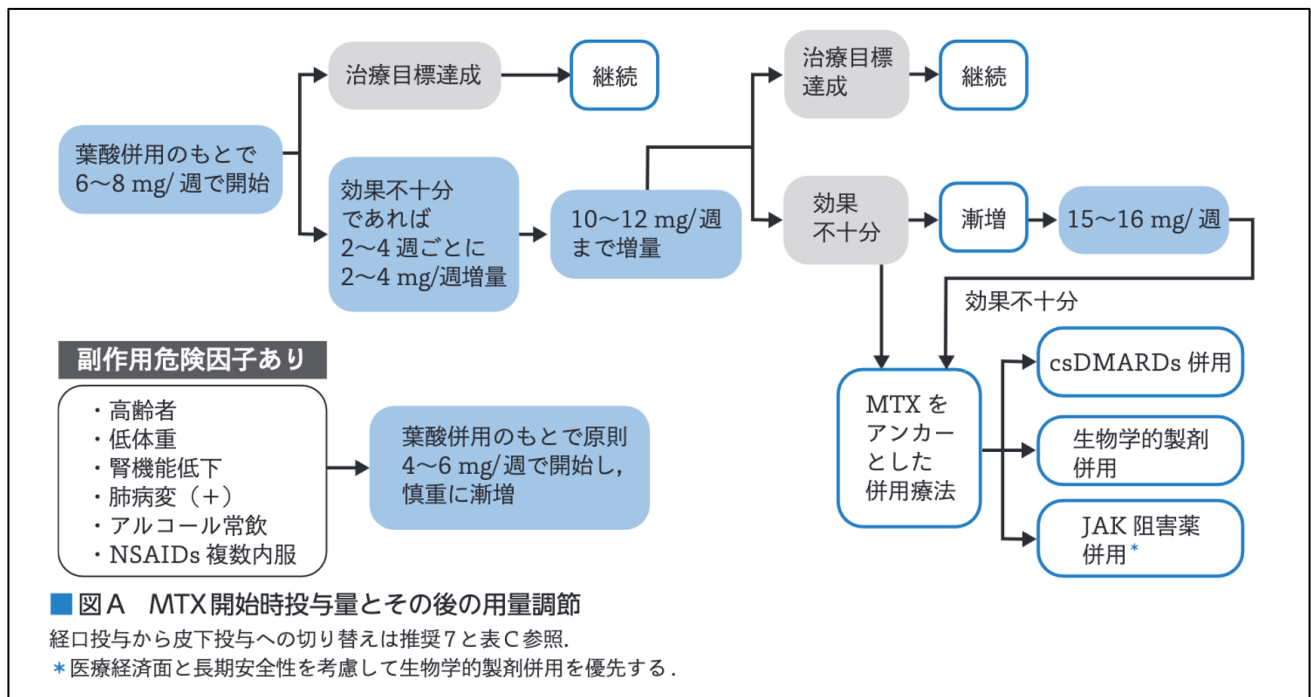
新たな選択肢となった MTX 皮下注射製剤についての記載が加わりました。MTX 皮下注射製剤についての詳しい内容については、リウマチセンターニュース第 10 号 (2023 年 1 月号 [2023/1/10 発行]) に記載されていますので、ご参照頂けると幸いです。

その他、なお、副作用危険因子 (高齢者、低体重、腎機能低下、肺病変 (+)、アル

コール常飲、NSAID など複数薬物の内服) を有している方に関しては、葉酸併用のもとで、原則 4~6mg/週で開始し、慎重に漸増となっています。2016 年版では、「2~4 mg/週」で開始となっておりましたが、2mg/週の用量は削除されました。これは、そもそも 2mg/週で開始して意味があるのかという点と、逆に 2mg/週で開始する様な患者さんは、むしろリスクが高いため、MTX そのものを使用しない方が良いのでは・・・などが加味されたようです。

具体的な MTX 開始時投与量とその後の用量調節に関しては、図 A を御参照下さい。

(日高利彦)



NSAIDs (非ステロイド系抗炎症薬)、csDMARDs (従来型合成抗リウマチ薬)

リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい。

なお、当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます。

([https://www.m-zenjin.or.jp/publicity\\_cat/publicity\\_1](https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1))